

特集
Mercedes-Benz & BMW
ドイツ車なら200万円以下で
想像以上に楽しめる!



SAMPLE CAR 1992y Mercedes-Benz 300E (W124)

サンプルカーは92年式の300E (W124)。走行距離は8.2万kmでショックアブソーバの劣化が気になる時期。W124用ショックアブソーバのチョイスは純正以外にもいろいろとあるが、モンローリフレックスに交換することで乗り味がどう変わるのかが気になるところ。プロショップのインプレッションにも注目してもらいたい。

PRO SHOPのインプレッション



メルセデス・ベンツW124専門店「アイディング」
懐かしいブランドというイメージがあったが
実際に乗ってみて印象が変わった!

「モンロー」というと、アメ車や懐かしいブランドというイメージだったんですが、今回モンローの担当者から詳しい話を聞いたり、実際にモンローに交換した車両に乗ってみて印象が変わりましたね。メルセデス・ベンツにも純正品を供給しているから確かな技術があることは間違いないですし、モンローリフレックスに交換したW124に乗ってみて、とてもしなやかで乗り心地も良かったです。お客様へお勧めするチョイスの一つとして提案したいと思っています」

魅力的なプライスとなって再リリース!



メルセデス・ベンツ
初代Eクラス用(W124)
※セダン用、500E/E500、AMGは除く
●フロント:2万4,600円/本
●リア:1万9,200円/本
●一台分特別セット:7万円/台
※アッパーマウントは ※価格は
セットには含まれません 全て税抜



「これ、知ってた?」
MONROE Reflexのメカニズム

モンローリフレックスにはツインディスク機構が搭載されている。これはショック内部のピストンバルブをツインディスクとすることで、ピストンスピードの変化に応じて、オイル経路を細かく制御しながらコントロールする技術だ。これにより、動き始めからしなやかな乗り心地と高い走行安定性を実現しているのである。

●問い合わせ: テネコジャパン株式会社
TEL:045-285-5221
http://www.monroejp.com/

ショックアブソーバの交換は
足回りメンテナンスの第一歩である



取材協力 アイディング

メルセデス・ベンツ初代Eクラス(W124)に強い思い入れを持つ専門ショップであるアイディング。豊富な経験と知識を持つメカニックが的確な整備を施してくれる。コンディションにこだわったW124も販売するスペシャルショップである。

- 住所:神奈川県横浜市都筑区早渕2-1-38
- ☎:045-590-0707
- URL:http://www.i-ding.com/
- 定休日:月曜日

に比べ続けるだけの高い技術力を持つことは純正サプライヤーとして最低限の要件なのである。モンローがそれだけの技術を持っていることは確かだ。さらにメルセデス・ベンツ用モンローのチューニングや製造は、アメリカではなく全てヨーロッパで行なわれている。ショックアブソーバの元祖として歴史あるモンローのノウハウが、このショックには盛り込まれているのである。

交換作業は神奈川県横浜市にあるW124専門ショップ「アイディング」で実施。今回はアッパーマウントとバンブラー&ブーツもモンローのキットを使用した。これらはショックを換える時に同時交換すべきパーツである。

ショック交換後、1週間ほどサンプルカーを借りて乗り回してみると、減衰力の立ち上がりからショックが利いているのが分かる。大きな段差だけではなく、小さなギャップもいなしでくれる。しなやかさ、があるのだ。高速コーナーでの安定性もよみがえり、W124らしい地を這うように感じる直進安定性もわかり、これなら補修用として使ってみてもアリだと思う。もっとういうなら、純正品+αの性能を得られることもモンローを選ば理由になるはずだ。

絶妙なしなやかさが快適な乗り心地を約束!

MONROE
Reflexで
メルセデスの
走りを再生

足回りの消耗品であるショックアブソーバの交換は、快適な乗り心地を維持するためにも欠かせないメンテナンス。部品のチョイスは純正以外にもいろいろあるが、ここではモンローリフレックスへの交換レポートをお届けしよう。

●文=GERMAN CARS ●撮影=古閑章郎 ●協力=アイディング/テネコジャパン株式会社

ショックアブソーバは基本的な消耗品の一つで、足回りメンテナンスの第一歩と言ってもいい。ショックアブソーバは走行中にボディがいつまでも揺れ続けないように抑える役割を持っている。劣化したまま乗り続けると、大きな段差を乗り越えた時などにいつまでも揺れが収まらなくなり、フワフワとした安定感のない乗り心地になるからクルマ酔いの原因にもなってしまう。さらに、急なコーナリングやブレーキング時に荷重のかかかっていないタイヤが浮き上がりやすくなり、バランスを保ちにくくなるため非常に危険でもあるのだ。

クルマの平均車齢や使用年数が長くなっている現在だが、日本においてショックアブソーバの交換率は低い。ストップ&ゴーが多く、長距離より中低距離での使用がほとんどであることも影響していると思うが、消耗品である以上、ショックアブソーバは必ず劣化する。ひどくなるとオイル漏れを起こして車検もクリアできなくなってしまう。それゆえショックアブソーバの交換は、安全性やドライブ車らしい走りを持続するために欠かせないメンテナンスなのだ。メルセデス・ベンツ初代Eクラス(W124)など、ヤングクラシック世代のショックのチョイスとしてはい

ろいろとある。純正品だけではなく、OEMや社外品まで好みに合わせて選べるのだが、今回チョイスしたのは「モンローリフレックス」。これまでW124用はラインナップから外れていたのだが、今回改めてリリースされることになったのだ。しかも、1台分で7万円という魅力的なプライスで復活したのである。



Front



Rear



今回用意したのはメルセデス・ベンツ初代Eクラス用(W124)のモンローリフレックス。サンプルカーから取り外したショックアブソーバは純正品。取り外したショックをチェックしてみるとフロントは片手で押し込めるほど劣化が進んでおり、リアも走行距離の劣化が見られたが、フロントほどではなかった。バンブーストラパーは劣化が進行しておりボロボロの状態。新品と比較してみるとその違いがよく分かる。このような状態を見れば、ショックアブソーバが消耗品であることが理解できるはずだ。

